

生きよう!
笑おう!



「自分らしく生きたい!」夢みるシリーズの到達点

在宅緩和ケアを通して、

歩くこと、笑うこと、生きることの喜び、家族の尊さを描く人生讃歌

（文部科学省選定映画）

ハッピースター☆エンド

オオタ ヴィン監督「夢みる小学校」最新作

出演：萬田 緑平（在宅緩和ケア医）樹木 希林

ナレーション：佐藤 浩市 室井 滋

エンディングテーマ：ウルフルズ「笑えればV」



上映日時：令和8年2月7日（土）
会場：佐伯市保健福祉総合センター和楽
1階大研修室

上映時間：2回上映

参加料：無料

主催：大分県緩和ケア研究会県南支部

①14:00～16:00

②18:00～20:00

「楽しい老い」とは？ 「穏やかな終末」とは？ 「理想的な地域医療」を描いた、笑いと涙があふれる あったか～い映画です！

群馬県の在宅医師・萬田縁平先生の診療所は、いつも笑い声が絶えません。

ジョークが好きな萬田先生の信条は、患者さん本人の気持ちを最優先する「患者ファースト」。

家族旅行を楽しんだり、愛するペットとともに暮らす。趣味のガーデニング、ゴルフ、お酒を満喫する。

本作で描かれるのは、最期まで自分らしく生きる、その輝き。前向きに歩きはじめる家族の姿です。

中学生、高校生など若い方にも、ぜひ見てほしい「生きる希望」を描いた文科省選定映画です。

がんを抱えながら亡くなった樹木希林さんの言葉が、明るく生き続ける極意を教えてくれます。

監督は、『夢みる小学校』のオオタヴィン。ナレーションは、佐藤浩市と室井滋。エンディングテーマはウルフルズの名曲です！

“希望あふれる地域医療”を描いたハートフル・ドキュメンタリー映画です♪



樹木 希林

「在宅緩和ケア」で、
自宅で自分らしい生活を送る
がん患者のみなさん

ゴルフやお酒も
OKです！



孫や子どもと
我が家で過ごしたい！



愛するペットと
一緒にいたい！



本作ナレーター
佐藤 浩市

緩和ケアを受けることで、がんの患者さんたちが
お酒を飲んだり、ゴルフをしながら自分の人生を満喫できる、
素晴らしいなと思いましたね。
がんで悩む現代人には勇気が出る映画です。

本作ナレーター
室井 滋

緩和ケアの実態、私もこの映画で初めて知りました。
がんになっても痛くないなんてすごいですよね。
患者さんたちの元気な笑顔にびっくりしました。
見ると不思議な希望が湧いてくる映画です。



観客は大声で笑う、自分や自分の家族と重ねて笑う、うなずきながら泣く。
画面に映るのは私、私の夫、私の妻、私の子ども、私の孫たちなんだ。
緩和ケアは生きる人の生きるを支え抜くケアだと伝わる。
この映画を観た人は「しっかり生きよう」と元気になるのだ。

高口 光子（理学療法士、介護福祉士）

予告編
ご覧ください



【内容】ドキュメンタリー映画

過酷な延命治療で苦しむことなく、住み慣れた家で心と身体の苦痛をやわらげながら、自分らしい日常生活を送れるようにする「在宅緩和ケア」末期がんの余命宣告を受け、病院での治療をやめて自宅で過ごすことを選んだ患者たちとその家族を取材。在宅緩和ケアで 2000 人以上を看取った経験のある萬田縁平医師による適切な指導のもと、患者たちが最後まで自然体で生き抜く姿を映します。同時に、自宅で一緒に過ごす家族が在宅緩和ケアの中で気持ちを整理し、納得してお別れの時間を過ごす様子にもカメラを向けた。

2018年に他界した俳優・樹木希林さんの講演会時の映像も使用。